

職業講話（第三小学校）

と き	令和3年12月9日（木）13:30～14:15
ところ	沼津市第三小学校 教室
対 象	6年生（62人）
内 容	総合的な学習として、様々な職種の方の講話を聞くことで、職業観を広げ、高める。62人を3グループに分け、3種類の講話の中から2つを選んで聞く。後日クラス内で交流しながら聞いた話を共有する。



【沼津市立病院の方】

市立病院には多くの診療科があり、外来や入院患者のケア、各種検査など、仕事の内容也多岐にわたります。また、昼間だけでなく、夜間に勤務することもあります。

私は祖父が入院した時の看護師の仕事ぶりを見て、この仕事を選びました。人の命に関わる仕事で知識や技術も必要なので、大変なことも多いのですが、患者さんが元気になっていく姿を見たり、「ありがとう」と言ってもらったりすると、この仕事に就いてよかったなと思います。



【沼津警察署の方】

警察の業務は交番勤務、刑事、交通取締り、また事務作業など多岐にわたります。男性のイメージが強い警察官ですが、沼津警察署では約1割が女性の警察官です。被害者は女性や子供であることも多いので、女性警察官が被害者の対応にあたることは大変意義があります。私は人の命を守りたいと思い警察官になりました。事件を解決したり、困っている人の手助けができた時、「ありがとう」と言ってもらえることに、この仕事のやりがいを感じます。



【保育士の方】

私は小さい子どもの世話をすることが好きだったので、この仕事を選びました。保育士は女性が多いのですが、力を使う作業や外出時の男の子のトイレ介助、男性保護者の話を聞く時など、男性保育士がいるとスムーズにいくこともたくさんあります。また、力を活かしてダイナミックな遊びができるので子どもたちが喜んでくれます。大変なこともありますが、子どもが成長していく姿を近くで見ることができるこの仕事に、やりがいを感じています。

子どもたちの感想

【市立病院】

- 私はてっきり看護師の人は女性だけだと思っていました。でも、話を聞いて男性がいると分かりました。
- 看護師さんになるためにはこんな試験を合格しなければならないなどのお話、ありがとうございました。

【沼津警察署】

- 警察は身体を張る仕事だけでなく、精神的に疲れている人も助けるということが分かりました。
- 女の警察官は男の警察官ができない「女の人が被害を受けた時の対応」などの仕事もできるのが分かりました。

【保育士】

- 「男性の先生だと男の子のトイレなどがスムーズに行ける。」と聞いて、保育の場には男性も必要だとわかりました。
- ぼくは世話をするのが好きだからすべての話が興味深く勉強になり、そして（保育士の仕事は）男女関係ないという事を知りました。